

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校【定時制】
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カトレーニング等の取組により、生徒の学びに対する意欲が向上した。基礎学力向上と資格取得の取組については、今後も引き続き継続するとともに、各授業の魅力向上にも努める必要がある。 ・定時制の生徒はアルバイト等で社会との関わりを持つことから、異年齢とのコミュニケーションのレベルも相対的に高い。次年度は、就労に意欲がない一部の生徒に対し、重点的な指導が必要である。 ・生徒の健康や食に関する意識は高いが、スポーツについては、苦手意識を持つ生徒もいる。体を動かすことの楽しさを実感させ、生涯にわたってスポーツを楽しむ習慣を育まなければならない。 ・キャリア教育については、生徒一人ひとりの能力や適性、特性等を見極め、丁寧に対応することができた。次年度は卒業年次生のみならず、全学年の生徒に対し、定時制ならではの将来を見据えた手厚い指導が必要である。
2 学校教育目標	<p>働किながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ち、社会に貢献できる人材を育成する。</p>
3 本年度の重点目標	<p>ア 基本的生活習慣の確立を図る。 イ 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読み解く力を育てる。</p> <p>ウ 進路指導の充実を図る。 エ 健康管理とスポーツの振興を図る。 オ 志を高める教育の推進を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				5 最終評価			
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施 結果	評価	意見や 提言
●学力の向上	○基礎学力の定着	○「計算カアップトレーニング」の積み重ねにより、基礎学力の向上を実感した生徒80%以上を目指す。	・定期的に「計算カアップトレーニング」を実施し、学習の積み重ねによる達成感を持たせる。 ・各教科で基礎学力定着のための時間を確保する。				
	○資格取得の促進	○資格取得に積極的に取り組ませ、検定合格70%、国家資格取得50%以上を目指す。	・資格取得のための補習を実施する。 ・高度な資格の取得に挑戦する生徒に対し、個別指導を行う。				
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ホームルーム活動等を通して、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施し、基本的人権の尊重を重視できる生徒100%を目指す。	・ホームルーム活動等にて、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施する。 ・人権・同和教育に関する講話を計画的に実施する。				
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの未然防止、早期発見、即時対応に向けて、いじめの問題への対応に係る年間計画に基づき、その取組を100%実施する。	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に実施する。 ・定期的に学校生活アンケートを実施して、いじめの早期発見・早期対応に努める。				
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	○佐賀県の良さについて、その理解を深めることができた生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語り」を使用して、佐賀県の歴史や文化、自然等について学ばせる。 ・佐賀県について興味を持ったことを学習用PC等を活用して、調べ学習を行わせる。				
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康によい食事をしている」生徒100%を目指す。	・定期的に「保健だより」を発行する。 ・講演会や個人面談を通して、健康に関する意識を高める。 ・給食指導(手洗い・マナー等)の徹底を図る。 ・食育に関する啓発活動を推進する。				
	○運動習慣の改善や定着化	○基礎体力・持久力向上のために、授業において、生徒の運動活動に対する満足度を90%以上にする。	・体育の授業に、「ターゲット型」種目を採用し、少人数でも各人が目標を定めて課題解決をする授業内容を導入する。 ・部活動を通して、生涯スポーツの基礎				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守し、年休取得を奨励し平均14日以上を目指す。	・出勤管理システムを有効に活用し、長時間勤務の職員に対し、指導・助言を行う。 ・学校閉庁日を設定する。				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				5 最終評価			
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施 結果	評価	意見や 提言
★唯一無二の誇り高き学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信 ○★将来を見通したキャリア教育の充実 ○★希望進路の実現のための個別最適な進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上 ○進路意識が高まったと考える生徒80%以上を目指す。 ○卒業年次生の進路希望(第1希望)の実現率80%以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内組織を立ち上げ、高校魅力化の取組を強化する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。 ・外部講師によるキャリア教育講演会等、生徒の実態に応じた講演会を開催する。 ・担任、科、進路指導部、全日制進路指導部等と密に連携を図りながら、生徒一人ひとりに最適な進路指導を行う。 				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---